（減損に関する事項）
⑴　減損を認識した固定資産に関する事項
①　池井（水圏科学フィールド教育研究センター館山ステーション）
⑴　減損を認識した固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額等の概要
用途（教育研究支援施設）、種類（構築物）、場所（千葉県館山市）、帳簿価額（3,189,193円）
⑵　減損の認識に至った経緯
新たに構築物を設営することに伴い、当該資産を除却するという決定をしたため。
⑶　減損額の内訳
減損額のうち、損益計算書上に計上した金額：０円、損益計算書上に記載していない金額：3,189,193円
⑷　使用価値相当額が０円であると判断し帳簿価額を０円まで減損した後、当事業年度中に除却処理を行いました。
⑵　減損の兆候が認められた固定資産（減損を認識した場合を除く）に関する事項
①　電話加入権
⑴　減損の兆候が認められた固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額等の概要
用途（電話加入権）、種類（電話加入権）、場所（東京都港区他）、帳簿価額（13,000円×39回線＝507,000円）
⑵　認められた減損の兆候の概要
固定資産の市場価格（相続税評価額）が著しく下落しました。
⑶　市場価格（相続税評価額）は帳簿価額から50%以上下落していますが、使用価値相当額が帳簿価額を上回るため、減損の認識は行いませんでした。

（重要な債務負担行為）
当事業年度に契約を締結し、翌期以降に支払が発生する重要なものは以下のとおりです。

（単位：円）

契約内容	主な契約先	翌期以降の支払金額		
		一年以内	一年超	合計
品川・越中島キャンパス施設整備工事	佐藤工業㈱	368,200,000	—	368,200,000
（越中島）学生寄宿舎（１寮・２寮）改修工事設計業務（構造）	㈲万建設設計事務所	2,520,000	—	2,520,000
合計		370,720,000	—	370,720,000

（重要な後発事象）
該当事項はありません。

附　属　明　細　書

当事業年度の附属明細書は、「国立大学法人会計基準」及び「国立大学法人会計基準注解」に関する実務指針（平成20年２月13日最終改訂　文部科学省　日本公認会計士協会）の様式に基づき作成しております。

⑴　固定資産の取得及び処分、減価償却費（「第83　特定の償却資産の減価に係る会計処理」による損益外減価償却相当額も含む。）並びに減損損失の明細

（単位：円）

資産の種類		期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	減価償却累計額		減損損失累計額			差引当期末残高	摘要
							当期償却額		当期損益内	当期損益外		
有形固定資産（特定償却資産）	建物	9,202,023,238	64,239,154	883,391	9,265,379,001	4,240,718,914	535,460,648	—	—	—	5,024,660,087	
	構築物	1,525,881,772	—	6,789,855	1,519,091,917	793,347,171	71,676,365	—	—	3,189,193	725,744,746	
	工具器具備品	480,622,368	13,053,192	—	493,675,560	423,589,570	26,010,651	—	—	—	70,085,990	
	図書	—	2,831,816	—	2,831,816	—	—	—	—	—	2,831,816	
	船舶	6,403,304,578	—	—	6,403,304,578	4,151,395,938	727,256,700	—	—	—	2,251,908,640	
	計	17,611,831,956	80,124,162	7,673,246	17,684,282,872	9,609,051,593	1,360,404,364	—	—	3,189,193	8,075,231,279	
有形固定資産（特定償却資産以外）	建物	109,900,566	173,458,923	—	283,359,489	31,150,994	16,538,085	—	—	—	252,208,495	
	構築物	17,531,354	147,289,803	—	164,821,157	6,746,607	3,821,750	—	—	—	158,074,550	
	工具器具備品	2,144,301,324	477,981,896	176,748,034	2,445,535,186	1,496,104,021	530,576,958	—	—	—	949,431,165	
	図書	873,722,921	25,833,601	—	899,556,522	—	—	—	—	—	899,556,522	